

附属病院の患者様からの遺贈による 「かもめプロジェクト」がスタートします。

横浜市立大学では、附属病院の患者様からの遺贈を財源とする「かもめプロジェクト」が、平成30年4月よりスタートします。本プロジェクトは本学の『医療の研究・発展』に活用して欲しいとのご遺志を踏まえ、学内で検討を重ね新たに創設したものです。

本プロジェクトには多数の応募があり、審査の結果、6つのプロジェクトが選定されました。各プロジェクトはいずれも、現在の医療では難治性の疾患であり、一日も早い革新的治療法の確立が望まれるものです。

また、本学では寄附者への感謝と研究発展への誓いの意を込めて、福浦キャンパスに遺贈顕彰碑を設置しました。各プロジェクトとも精鋭の研究者チームが、一日も早く研究成果を実際の医療に還元できるよう取り組んでいきます。

【遺贈について】

- ・受入年月 平成28年12月
- ・寄附者 附属病院 患者様(故人)
- ・寄附目的 「医療の研究・発展に寄与することを目的として横浜市立大学医学研究科に遺贈する」
- ・寄附金額 約2億2千万円
- ・名称 「かもめ基金」

空に大きく羽ばたき、のびやかに飛翔する「かもめ」のように、本学の医学研究が発展することをイメージし、いつまでも記憶に残る愛称として名付けました。

・活 用

教育・研究・診療の観点から活用することとし、「かもめプロジェクト」に1億5千5百万円を充当するほか、医療人材の育成および医療の質の向上に必要な機器購入等を行っていく予定です。



遺贈顕彰碑

設置日；平成30年4月25日(水)

場所；横浜市立大学 福浦キャンパス
基礎研究棟入口



遺贈顕彰碑を囲む「かもめプロジェクト」の研究チーム代表者たち

お問い合わせ先

(プロジェクトについて) 研究企画・産学連携推進課長

渡邊 誠 TEL: 045-787-2510

(寄附について) 学生・キャリア支援課長

上野 修 TEL: 045-787-2090

【かもめプロジェクトの概要】

- ・ 目的 基礎研究と臨床研究の融合により、医学研究の発展、特に臨床への還元を目指す
- ・ 総額 1億5,500万円
- ・ 募集方法 学内公募
シーズ開発研究や介入研究などを対象とする「カテゴリーA」と博士学位取得後8年未満の若手研究者を対象とする「カテゴリーB」に分けて募集しました。
- ・ 応募総数 カテゴリーA・B合わせ27件
- ・ 選考方法
一次審査（書類選考）、二次審査（プレゼンテーション）を経て、以下の6つのプロジェクト及び配分総額を学長が選定しました。
- ・ 選定プロジェクト

カテゴリー	タイトル	研究期間	配分総額
A	難治性がんの代表である膵癌の包括的理解と革新的治療法開発への挑戦	5年	5,000万円
	高血圧-脳心血管病-腎臓病の病態連関の機序解明と新規治療開発を目指した研究		4,350万円
	造血器腫瘍幹細胞のクローン進展・維持を支えるエピゲノム・代謝特性と周辺環境ネットワークの解明		4,350万円
B	糖尿病根本治療へ向けたヒト膵島を用いたトランスレーショナルリサーチ	3年	600万円
	NF- κ B経路を標的とした中枢神経原発悪性リンパ腫治療法開発に向けたトランスレーショナル研究		600万円
	胆汁酸性下痢症の新規診断法の開発および陰イオン交換樹脂による革新的治療法の開発		600万円